

6－5 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その34）

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part34)

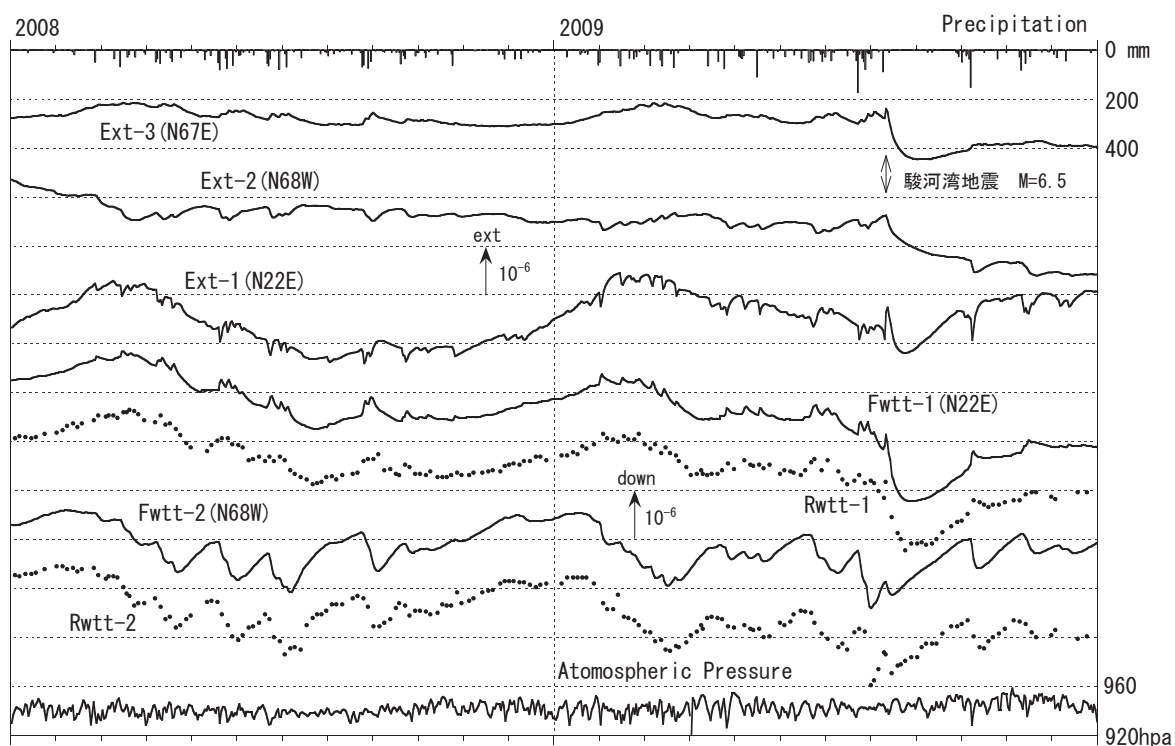
東京大学地震研究所, 地震地殻変動観測センター
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

前報⁽¹⁾に引き続き富士川観測所における2008年から2009年の地殻変動観測結果について報告する。第1図は水晶管伸縮計(Ext), フロート型水管傾斜計(F-Wtt), 気圧の日平均値, 読取型水管傾斜計(R-Wtt)の読取值と, 日雨量を示す。例年と同様に記録の随所に季節変化・降雨の影響が見られるが特に大きな変動は見うけられない。2009年8月11日の駿河湾地震の後Ext-2の縮みの傾動が続いている。

第2図に観測当初1970年から2009年までの水晶管伸縮計の日平均値と日雨量を示す。前報で報告したように, 2007年9月頃から2008年3月中旬にかけExt-2の縮みの傾動が見られるが, 平行観測として渦電流センサを用いた記録には縮みの傾動が見られないことからセンサの影響かと思われる。第3図に読取型水管傾斜計の月平均値とその12ヶ月移動平均値と月別雨量を示す。第4図には読取型水管傾斜計の移動平均値に基づく傾動ベクトル図を示す。観測当初より現在に至るまで, 北東・南西への掘削方向への揺らぎを伴いながらの南東方向への傾動が続いている。2008年半ば頃から2005年の北東方向への傾動とは逆方向となる南西方向への傾動が続いている。

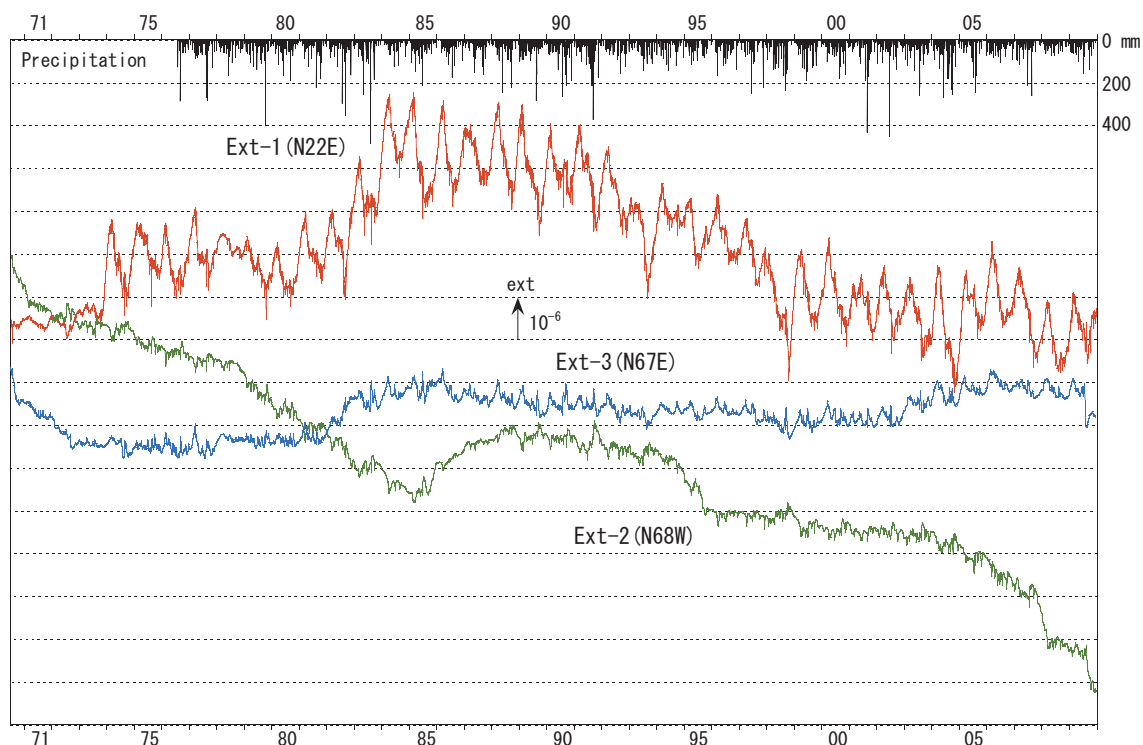
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター富士川地殻変動観測所: 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測(その33), 連絡会報82(2009年), 313-317.



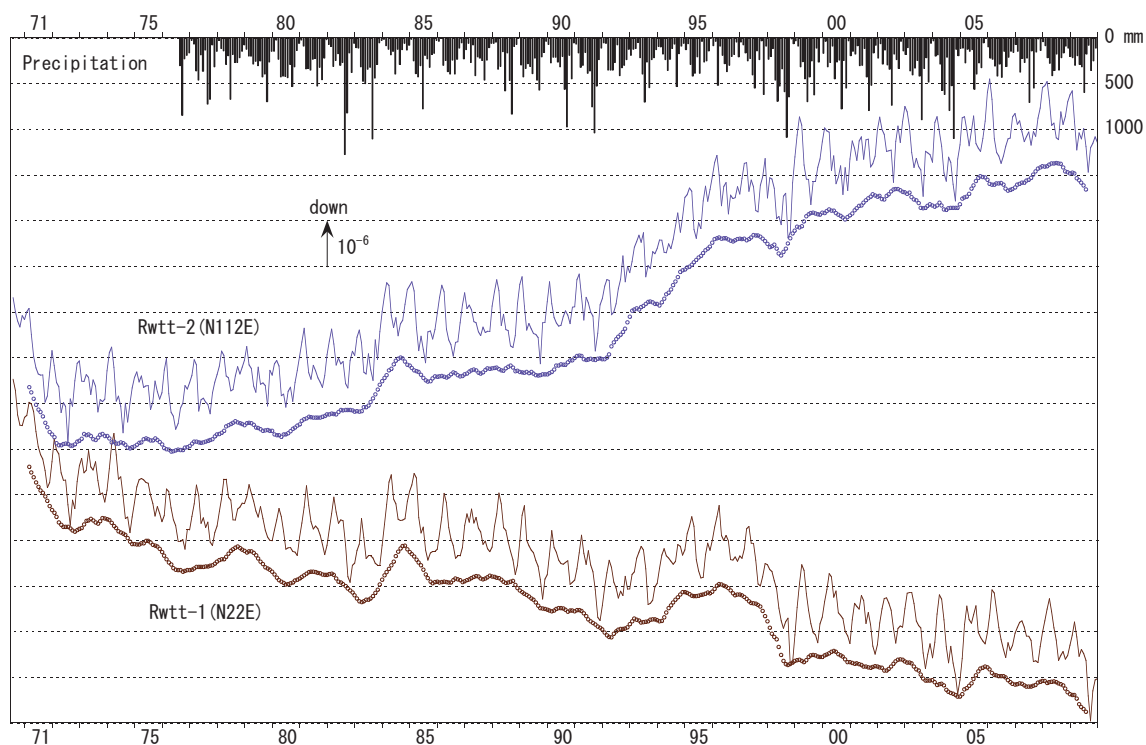
第 1 図 富士川観測所における水晶管伸縮計・水管傾斜計（実線＝フロート型・黒丸＝読取型）記録，気圧の日平均記録および日降雨量（2008 年，2009 年）

Fig.1 The earth's strain, tilt (solid=float type WTT, dots=reading type WTT), atmospheric pressure (daily mean) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in 2008-2009.



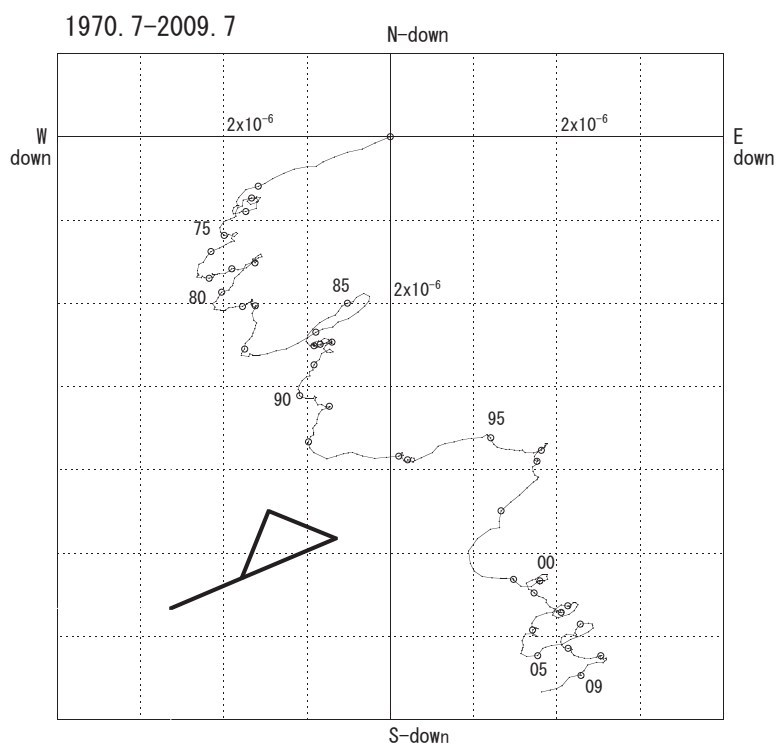
第 2 図 富士川観測所における水晶管伸縮計により観測された歪の日平均値の変化及び日雨量

Fig2 Daily mean strain data observed by extensometers and precipitation data



第3図 読取型水管傾斜計による累積傾斜変化（□=12ヶ月移動平均値・実線=月平均値）および月別雨量

Fig.3 Cumulative tilt change by reading type WTT(□=12month's running mean, solid line=monthly mean)



第4図 読取型水管傾斜計による永年傾動ベクトル（12ヶ月移動平均値）

Fig.4 Vectorial presentation of filtered secular change in the ground tilt